

野蒜復興新聞

野蒜地区復興協議会 総会

二十四年度 事業報告 収支決算 監査報告
二十五年度 事業計画 収支予算案 承認



住民、市職員、関係者合わせて200人を超える人が参加した（野蒜市民センター）

5月26日、野蒜地区復興協議会総会が開催されました。会場には住民と市関係者合わせて二百名以上が参加し、24年度に実施した事業報告と収支決算についての監査報告、また25年度の事業計画と収支予算案について、最後に質疑応答の時間をもちました。

24年度の事業報告においては当協議会設立の11月から今年3月末までの5ヶ月の間に、計15回の協議を重ねてきた事業報告。そして今年度の収支予算案においては、部会員のための勉強会や復興地域視察などの費用を含めた収支予算案が提案され、賛成多数で承認されました。

また質疑応答では、市独自の住宅再建支援事業に関する質問が多く聞かれ、市役所担当者からこの事業の概要説明を受けました。現

段階ではまだ議会の承認を受けておらず、6月に議会で承認を受けられたならば、7月の市報で事業の詳しい説明を住民へお伝えし、7月中旬から書面のやり取りなどを実施できたらと言うことでした。

総会へ参加できなかった方は、野蒜地区復興協議会総会の資料を野蒜市民センター玄関へ設置しておりますのでご自由にお持ち帰りください。



市役所の各担当から説明を受ける（野蒜市民センター）

住民の声、検討

復興部会

5月28日、今年度第2回目の復興部会を開催しました。現在部会で主に協議されているのは、今年2月に野蒜地区復興協議会の復興部会において、「在宅住民の声アンケート調査」を実施し、回収した二百四戸のアンケート結果についてです。

回収結果は多岐にわたるのですが、今回は商店等についての要望がテーマに挙げられました。スーパリーやコンビニ、ガソリンスタンドなど無くなり不便であること、車がなくすに買い物に行けない人、移動販売も来るが品揃えが限られていること、商店が近くになくなってしまうこと等が大部

分で、百十二件の方々からこのようなご意見を頂きました。

た。これらの課題から部会として、地域として、市と協力してできることなど検討し、他の部会とも課題を共有して進めていきます。

部会員からは、亀岡西の運河沿いに「希望のあかりプロジェクト」という、地元住民とボランティアとで仮設店舗の設置を進めている説明がありました。

現在も地場産品や手作り小物が販売されているほか、トイレ休憩所として外部、地元の方々に気軽にご利用していただきたいということでも。また他の部会員からも、JR仙石線の開通に合わせて、駅構内にニューデイズ等のコンビニ設置は出来ないのかなどの

話しが出されました。

復興部会のメンバーは現在14名、今後は今までの検討内容をまとめ、さらに部会員で担当分けなどを実施し、課題の解決にむけて活動を進めていきたいと思えます。



野蒜地区復興協議会 第二回高台移転部会

5月18日、第2回高台移転部会が開催されました。現在、野蒜北部丘陵地区へ移転を希望する世帯へのアンケート調査を実施中であり、その中間報告の説明、今後のスケジュール案、土地利用計画の確認、部会での勉強会や視察案などについて協議しました。

アンケートの中間報告では、二百七十三世帯へ配布したアンケートの中、まだ回収できていない六十世帯の希望を把握してから、今後の課題の整理と対応策の検討を実施していくこととまとまりました。また現段階で概ね80%の方が旧コミュニティエリアを希望している結果が報告されました。

スケジュール案としても、11月に画地位置決め、抽選会を実施する予定でまとめ、さらに今後のまちづくりの醸成のため、夏頃までに部会員で勉強会を数回実施した後、他地区の住宅団地へ視察に行くことなどが提案されました。次回部会ではさらに検討内容を詰めていく予定となっています。



今年度11月の抽選に向けてルール決めを検討中の高台移転部会

Tree Dragon (復興の森) ツリーハウスの利用について



アフアンの森財団が中心となり復興の森・森の学校づくりが進められております。それに先立ち復興の森入り口にシンボルとなるツリーハウスが完成しました。(事前申込でご利用可能)

利用対象：管理責任者のいる東松島市在住の個人、家族、グループ
利用時間：午前10時～午後5時まで
利用料金：無料
申込方法：申込先で利用規則をご確認ください。一週間前までの予約が必要です。所定の申込用紙に必要事項（保険適用のため）を記入後、お申込。
申込先：高橋雄吾（NPO 児童養護施設支援の会）090-9202-5550
管理運営責任者：アフアンの森財団